件名：スイス連邦統計局発表（スイス犯罪統計2021年）

【ポイント】

- 3月28日スイス連邦統計局は、2021年のスイスにおける犯罪統計を発表しました。
- 刑法犯全体の認知件数が減少傾向にある一方で、2021年は30,351件のサイバー犯罪が連邦警察によって認知されました（2020年から24%増）。また、暴力犯罪で警察に検挙された未成年者3,455人のうち261人が重要犯罪で検挙され、前年より増加しております。
- スイスは、他国に比べると安全な国のイメージがありますが、スリや家宅侵入などの窃盗事件・強盗事件等の軽犯罪については、依然として高い水準で推移しており犯罪に遇う確率が高いため、緊張感を持って日々の生活をお過ごしください。
- 最近では、サイバー犯罪が増加しております。サイバー空間の安心・安全の確立には、インターネットを利用する一人一人がサイバーセキュリティ対策に高い意識を持って取り組むことが重要です。サイバー空間におけるルールやマナーを守り、安心・安全で快適にネットワークが利用できる環境づくりにご協力をお願いします。

【本文】

1 サイバー犯罪

サイバー犯罪は、前年24,398件から本年30,351件に増加しており（1日平均83件）、そのうち約88%が「経済犯罪」に該当します。

「経済犯罪」の内訳をみると「サイバー詐欺」が最も増加しており、最も多い事案は、既に支払われた商品が配送されない事案(6,884件)です。次に多い事案は、他者のIDのなりすまし、または、個人情報が悪用された事案(6,670件)となっております。

2 殺人事件（2021年：42件）

42件の殺人事件が発生（1982年以降、最も低い）しています。そのうち23件(54.8%)が家庭内で発生(2020年:28件)し、現在のパートナーまたは過去のパートナー関係であった女性15人、男性1人が殺害されました。

重要犯罪は前年と比較して変化はなく、殺人、殺人未遂等は減少しましたが、強姦罪は44件増加しました。

3 被疑者の年齢層：成人は減少、未成年者はわずかに増加

計82,284人が刑法犯で検挙されました。うち13.3%は未成年（18歳未満）、15.9%は若年

成人(18歳から24歳)、70.9%は成人でした。若年成人及び成人では、犯罪者数は前年より減少し(それぞれ-5.8%と-1.0%)、未成年者では増加(+3.5%)しました。

2020年と同様に、未成年者の大半は、窃盗を伴わない器物損壊(未成年者2,260人)、万引き(1,890人)、暴行(1,057人)等の軽微な犯罪で検挙されました。一方、前年と比較して、暴力犯罪で検挙された未成年者は3,455人であり、2.7%増加しました。未成年者による重大な暴力犯罪の増加率は14.5%(+33人の未成年の犯罪者)でした。6年連続で、暴力犯罪全般及び重要犯罪で検挙された未成年者が微増しました。

4 1日あたり85件の空き巣、電動自転車の盗難増加

スイス全土では車両盗難を除く盗難事件は全体で108,7501件が警察に認知されています。そのうち、空き巣や忍込み等の侵入窃盗は31,186件で、前年より5%減少しており)、その数は着実に減少しています。空き巣や忍込みは、依然としてアパートや家屋での犯行が最も多くなっています。(17,074件)

また、車両等の盗難を除く盗難事件のうち、一般的な窃盗(-1,912件)やスリ(-1,723件)は減少しましたが、車両からの物品の窃盗は増加しています。(995件)

車両等の盗難は、全体で40,021件が警察に認知されています。そのうち、自転車の盗難については、2021年には、8,919台の電動自転車が盗まれ、前年より47%増加した一方、従来の自転車の盗難頻度は前年(-11%)よりも減少しましたが、依然として27,246台で過半数を占めています。

○スイス連邦統計局(犯罪統計2021)

<https://www.bfs.admin.ch/news/de/2022-0372>